



アサガオは、咲く時間が決まっているの

アサガオは、夜の時間から、咲く時刻を決める

アサガオは、何時ごろ咲くか知っていますか。夏の終わりごろには、まだ、太陽がのぼっていない、みんながねむっている、午前3～4時ごろです。アサガオは、太陽の光が出るのにあわせて、咲くのではないのです。しかも、だんだん、昼間の時間が短くなり、夜が明けると遅くなるほど、咲く時刻は早くなってきます。

じつは、アサガオのつぼみは、昼間、明るい太陽の光を十分にあびた後、暗くなってから10時間ぐらいたつと、花を開く性質をもっているのです。昼と夜の、明るい時間、暗い時間が一定の時間ごとにくり返すリズムで花が咲くのです。ですから、よく晴れた日の午後2時ごろ、アサガオのつぼみを黒い紙などでおおって、暗くしてやると、夜中に花を咲かせることができます。また、気温が低くなると、咲く時刻が早くなります。

花が開く時刻は、気温や太陽の光で変わる

花が咲く時刻は、花の種類によってさまざまです。花が咲く時刻が、だいたい決まっている、オシロイバナ(午後3～4時ごろ花が開き、次の日の朝7～10時ごろ花を閉じる)や、スイレンの仲間のヒツジグサ(昔のひつじの時刻(午後2時)に咲くためついた名前 - - 実際には午前11時ごろから咲く)があります。また、太陽の光があたると咲き出す、ハコベやムラサキカタバミの花などもあります。チューリップのように、気温の変化で、花が開いたり閉じたりするものもあります。雨の日は、花を閉じてしまうものが多いものです。

どの花も、気温や、太陽の光が十分あるかどうかで、花が開く時刻が、少しずつちがってきます。(監修・矢野 亮)

